

第11回共助のまちづくりシンポジウム

人口減少期を迎えながらも

「持続可能な共生社会を考える」

地域と市民活動のネットワークの構築を

■日時：12月1日（日） 14時開会（13時30分受付開始） 16時30分 終了

■会場：八王子労政会館・ホール 無料

■講演「人口減少の隘路をどのように抜けて

次世代にまちをバトタッチできるのか？」

首都大学東京・人文社会学部 山下祐介教授

■パネルディスカッション

八王子市民活動協議会、NPO 法人小津倶楽部

市民活動団体、山下教授、八王子自治研究センター



山下教授 著書『地方消滅の畏増田レポートと人口減少社会の正体』筑摩書房、共著『地方創生の正体 なぜ地域政策は失敗するのか』筑摩書房 他多数

主催：八王子自治研究センター 共催：八王子市民活動協議会 後援：八王子市

講演とパネルディスカッションについて

- ・昨年12月に開催した第10回シンポジウムでは「多様な市民活動とまちづくり—共生社会を考える」というテーマで議論しました。
- ・今年の第11回シンポジウムは、人口減少期を迎えながらも、持続性のあるまちづくり施策を考えていきます。
- ・これまでのシンポジウムで議論を重ねてきた「共生社会」の在り方に踏まえ、パネルディスカッションでは八王子市内で様々な活動を担う皆さんの具体的な経験を共有することを目指します。
- ・また八王子市の基本計画「八王子ビジョン2022」もSDGs(持続可能な開発計画)の施策を加えたものとなっています。私たちの議論も、2023以降の長期計画に反映できるよう、本シンポジウムをスタートとします。

問い合わせ：八王子自治研究センター Tel042-626-7714

八王子市民活動協議会 Tel042-646-1626